

学校評価特集【後期】

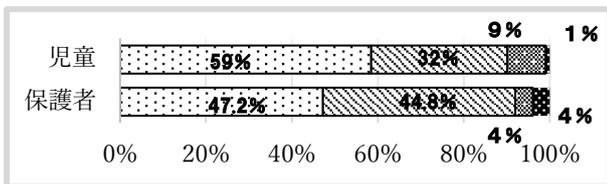
12月に実施しました保護者アンケートの集計ができました。また、同時期に児童アンケートも実施していますので、これらの結果をお知らせします。

本校では年間に2回の学校評価を行っています。子どもたちへの教育は、保護者や地域と学校との信頼関係が大切であり、学校は子どもたちの状況や保護者の思いをしっかり受け止め、教育の充実に努めていきたいと考えています。今後とも子育てについての課題を共有しながら学校・家庭・地域の相互理解と連携が一層深まることを願っています。

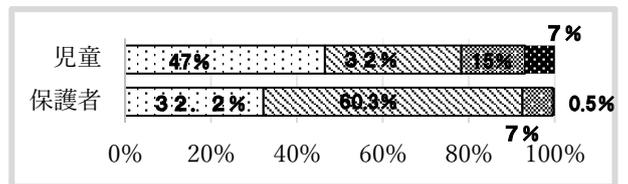
1. 児童と保護者が同じアンケート項目

＜表の見方＞・  そう思う  大体そう思う  あまりそう思わない  そう思わない

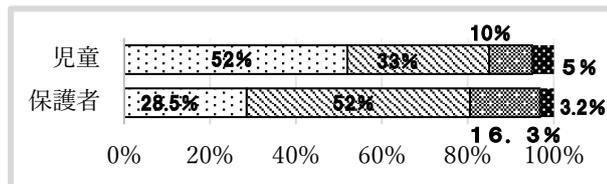
① 学校に楽しく通えている。



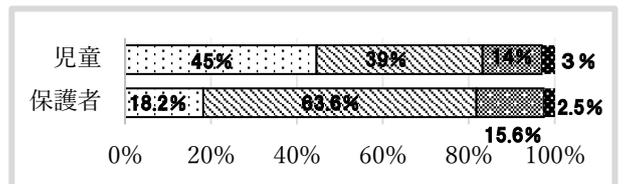
② 困ったことを相談できる相手がいます。



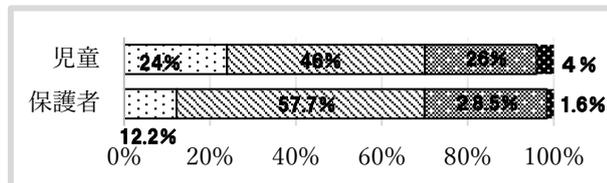
③ あいさつをしている。



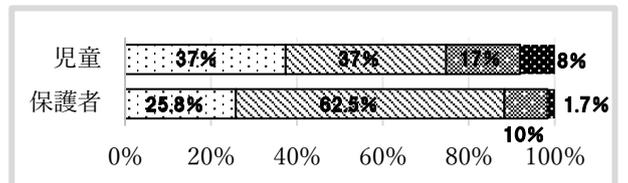
④ 授業は楽しくて分かりやすい。



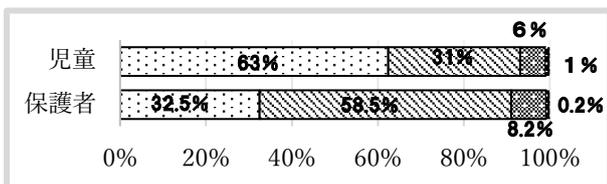
⑤ 正しい言葉づかいで話している



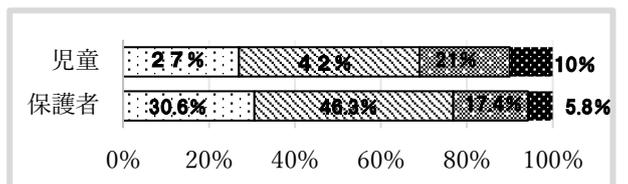
⑥ お家でほめられます。



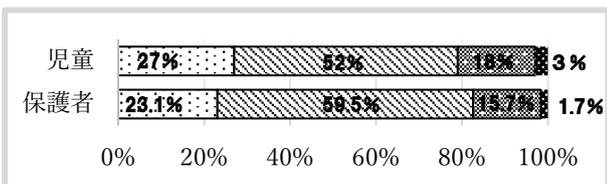
⑦ 友だちと仲良く過ごしている



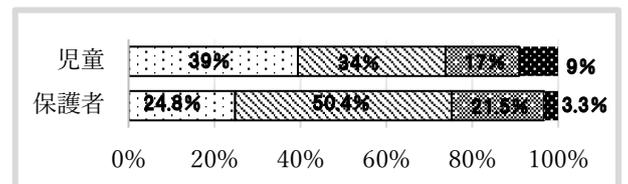
⑧ 「早寝・早起き・朝ごはん」など、規則正しい生活ができています



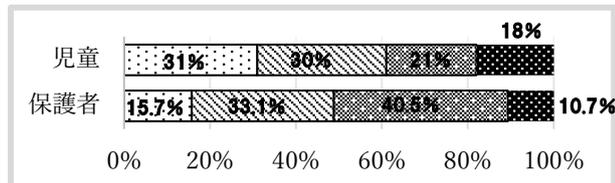
⑨ 家庭の約束や学校のルールを守っている。



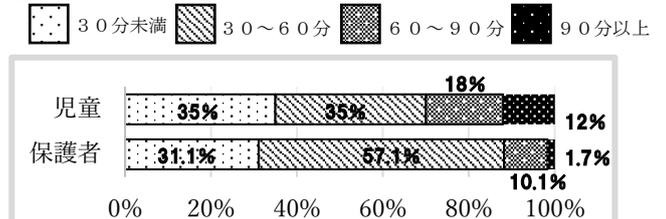
⑩ 学校でのことをお家の人に話している。



⑪ ゲームやスマートフォン・インターネット・SNS などを使う時間やルールを決めて守っていますか。

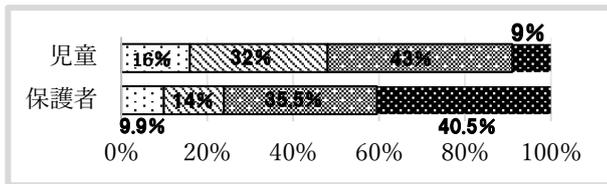


⑫ 家庭での学習時間



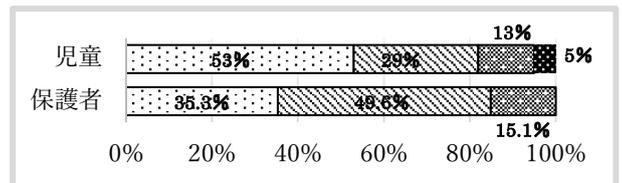
⑫ ゲームやスマートフォン等の1日の使用時間

全く使わない
 1時間未満
 1～2時間
 2時間以上



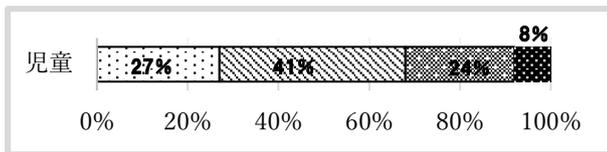
⑬ 家庭での読書時間はどれくらいですか。

全くしていない
 30分未満
 30～60分
 60分以上

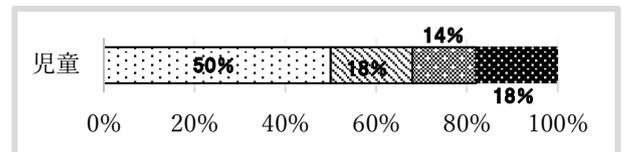


2. 児童のみのアンケート項目

① 先生にほめられます。

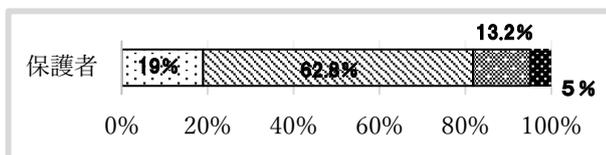


② 将来の夢を持っています。

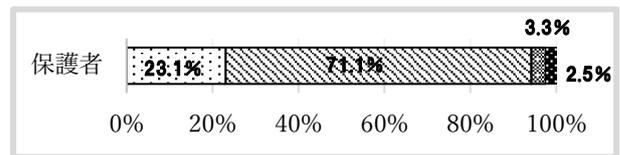


3. 保護者のみのアンケート項目

① 学校は、お便りやホームページ等で様子を伝えている。



② 池田小学校の教育に満足されていますか。



後期学校評価分析・考察
 <学習面の成果>

学習理解度

学習理解度を問う「授業は楽しくて分かりやすい」についての回答を見ると、児童に関しては、83%が肯定的な回答をしています。

⇒今年度は、子どもたちの学習習慣に対する意識の向上を目指して、校時表を変更したり、タブレットを有効活用したりして取組を進めてきました。今後は、習ったことを忘れないように、家庭でしっかりと復習することで、習熟・定着を図ることができるようにしていきたいと考えています。そのためにも保護者の皆様の協力が必要です。ご家庭でも励ましや確認の声かけをよろしくお願いいたします。

学校では、今後も目指す子ども像に向けて、わかる授業の構築と学習内容の定着化を図り、いま求められている「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた授業実践をしていきます。

<学習の課題>

家庭学習

「家庭での学習時間」の項目では、前期よりは「30分未満」と回答した児童は減りましたが、未だなお児童の35%が「30分未満」と回答しています。(その反面半数以上が、ゲームやスマートフォン等を1時間以上使用しています。)

⇒前期もお伝えしましたが、学習したことをしっかりと定着させることが本校の課題の1つです。「学ぶ習慣」を身につけさせるためには、毎日、決めた時間に家庭学習を続けることが大切です。学校ではチャイムを合図に区切りをつけた生活を送っています。ご家庭においても時間や時刻を意識した生活を送ることで、家でのいろいろな生活(お風呂・就寝・起床など…)がごく当たり前の基本的な生活習慣になります。一度、意識して取り組んでみてはいかがでしょうか。

また、高学年だけでなく中学年も、週末にタブレットを持ち帰り、「ドリルパーク」に取り組んでいます。「ドリルパーク」は、いろいろな学年の教科を学習することができます。苦手なところをもう一度復習したり、学習の予習をしたりと効果的に取り組んでいます。新年度に向けての復習にも最適です。引き続きご家庭での学習にご協力お願い致します。



読書時間

「読書時間」の項目では、保護者アンケートを見ると、約35%が「全くしていない」と回答しています。「30分未満」を合わせると、約85%となります。

⇒ 読書は、自分の内面を耕すだけでなく、読解力・語彙力を高める上でも効果的です。

今年度は、これまでの取組にプラスして「読聞かせデー」を設け、教職員による読み聞かせをしています。しかし、昨年と比べると「全く読まない」と回答した児童が増えています。学校は、この現実を真摯に受け止め、今後は、「全く読まない」という児童が減るよう、より一層読書の楽しさを感じる事ができる取組を行っていきたいと考えています。ご家庭でも読書習慣を身に付けるために、地域図書館を利用したり、好きな本について交流したり、読み聞かせをしたりしてみたいでしょうか。



<生活面の成果>

学校が楽しい 友だち関係

「学校に楽しく通えている」「友だちと仲良く過ごしている」の2つの項目についての回答を見てみると、2者とも90%以上が肯定的な回答をしています。

⇒ 子どもたちは、学校教育目標である、「友だちとつながる」ことをうれしく感じ、楽しく学校生活を送っている様子が伺えます。とはいえ、否定的な回答をした残りの10%にも目を向け、教職員一同、更なる努力の必要性を感じています。子どもたちが「楽しい」「早く学校へ行きたい」と思えるよう、一人一人の居場所がある学級づくりに向けて教職員一同一層努力していきたいと思います。

<生活面の課題>

家庭の約束や学校のルールを守っている

「家庭の約束や学校のルールを守っている」では、約80%の児童が肯定的な回答をしていますが、前期よりも否定的な回答をした児童が増えています。

⇒ 前期よりも、肯定的に回答した児童が減少しています。学校では、みんなが気持ちよく過ごすためにルールやきまりがあると、お話しています。そして、1つ1つのルールや約束について「何のためにあるのか」を説明し、他のルールにも汎用できる力を育むようにしています。しかし、学校の中では、決められたルールを守って過ごしていると答えている子どもたちですが、地域の方や保護者の方より、放課後の過ごし方についてご意見いただくことがあります。どのような場面でも、ルールを守って行動できるよう、今後も指導を続けていきたいと思っています。

規則正しい生活

規則正しい生活を問う「早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しい生活ができている」では、約70%の児童が肯定的な回答していますが、前期より減っています。

⇒ 本校がめざす子ども像の実現には、規則正しい生活習慣や高学年になるにしたがい、自分で自分の生活をコントロールできる力が必要です。メディアコントロールを含め、子どもたちだけではできない部分もあります。学校では、長期休業の後「生活リズムチェック」を行い、自分の生活習慣を振り返る機会としています。今後も保健指導を通して、規則正しい生活習慣の必要性についてお話していきたいと思っています。ご家庭でも、規則正しい生活習慣を身につけることができるように、環境を整えていただきますようお願いいたします。

睡眠は、人が生きていくためには欠かせないものです。特に子どもにとっての睡眠は、大人と違った役割があります。大人にとっての睡眠は、頭と体を休ませるためのものですが、子どもにとっての睡眠は、体を休めるための他に、未熟な頭と体を発達させる大切な役割があります。子どもの脳では、眠っている間に日中経験した事など記憶された情報を整理するはたらきと共に、体を育てる『成長ホルモン』が分泌されます。しっかり眠ることはしっかりと心身を作ります。『寝る子は育つ』は真実なのです！！子どもの頃からしっかり眠る習慣を身につけることが大切です。



ゲームや携帯電話のルール、1日の使用時間

ゲームや携帯電話の使用ルールについては、約60%の児童が肯定的な回答をしています。前期より肯定的な回答が約20%減りました。また、1日の使用時間については、児童の約10%が、2時間以上使用していると回答しているのに対して、保護者の約40%が「2時間以上」と回答しています。ここでも、児童と保護者のズレが生じています。

⇒使用時間については、子どもと保護者に大きなズレがあります。子どもたちは、ゲームやスマホを使っているとあっという間に過ぎて、時間の経過が分かっていないのかもしれませんが。親の目の届くところに子どもたちはいるでしょうか。情報機器によるトラブルが低年齢化している今、学校では情報モラル学習や外部講師を招いて「ケータイ教室」や「非行防止教室」を実施するなどして、トラブルに巻き込まれないように指導したり、規範意識が育つように指導したりしています。長時間使用したり、トラブルに巻き込まれたりしないよう、保護者の見ているところでゲームやスマホを使用するなど、家庭でのルール作り、見直しをよろしくお願いします。

☆自由記述欄にもご意見いただきありがとうございます。

◆コロナ関係

- 文科省の通達も出たので、黙食をやめて、子ども達には、友人と笑いながら楽しく給食を食べてもらいたい。
→現在は、「大きな声で話すことはやめましょう」と伝えていますが、近くの友だちと会話をしながら食事をしていきます。
- 他学年がコロナなどで学級閉鎖になったときは情報が欲しい。病院を受診した際、聞かれて困った。
→これまでは、他学年の学級閉鎖の情報を伝えていませんでしたが、今後検討していきます。

◆行事について

- 学習発表会では、子どもの学年の時間に見に来るようにプログラムには記載されていたが、時間がかかれてなかった。
→学級のおたよりにて時間はお知らせしていましたが、プログラムには記載していませんでした。来年度は、プログラムにも、おおよその時間を、明記したいと思います。ご意見ありがとうございます。
- 今まで新型コロナウイルス防止のためにできなかった分、いろいろな経験をさせてほしい。
→今年度は、以前のように少しずつ行事が行えるようになってきました。2学期以降は、学校でも外部講師を招いての「スマホ教室」「伝統工芸教室」「命の授業」「お掃除教室」「そろばん教室」等行ってきました。来年度はさらに、子どもたちの体験活動の充実を図っていきたいと考えています。
- 参観で、音楽や体育は見たことがないので見てみたい。
→いろいろな学習の様子を見ていただけるように工夫していきます。
- 参観での親のマナーが悪い。
→子どもたちが、気持ちよく学習することができるように、ご協力よろしくお願いします。

◆生活面

- 子どもたちの言葉づかいが悪い。
→子どもたちの良い手本となるよう、身近な大人が態度で示していけたらいいですね。

◆学校の環境面

- コロナ予防という前に、床面・トイレの汚さ・雑巾の汚さ等をどうにかしてほしい。
→子どもたちが学校生活を気持ちよく送ることができるよう、環境整備に努めていきたいと思っています。

◆その他

- お休みの時のおたよりは、児童に持ってこさせるのではなく、急ぐ内容の時は、メールや画像共有ぐらいにしてほしい。
- 重要なお知らせなどは、もっとメールを活用してほしい。
→来年度以降、「スクリレ」を活用してのおたよりのメール配信等、行っていきたいと考えています。